

エコアクション21 についての

Q&A

詳しくは エコアクション21中央事務局
ホームページをご覧ください。
<http://www.ea21.jp/>

Q1. むずかしそう…

A. 確かに「簡単です」とか「楽に取れます」とは言えません。しかし、約7,600近い認証登録事業所のうち、従業員数30人以下で38%、10人以下で29%という事実から、決してハードルが高いとも言えません。要は「トップの決意と環境保全への熱意」です。

Q2. お金がかかりそう…

A. 登録料(2年分)は従業員数10人以下で5万円、11~300人で10万円です。また、審査費用は、事業者の規模や業種によって異なりますが標準的には10~30万円となっています。

Q3. メリットがあるのかな…

A. 取組を進めることにより、経費の削減や生産性・歩留まりの向上につながり、また、環境活動レポートを外部に公表することにより、利害関係者からの信用が高まります。さらに、サプライチェーンのグリーン化に対応することができます。この他、入札の加点、金利の優遇、産廃業者の優良性評価など様々な制度の要件の一つになっています。

Q4. ISO14001 との違いは…

A. なんとと言っても、認証登録に係る費用が安いことでしょう。また、要求される文書や記録の数が少なく、システムを構築し維持する労力が比較的少なくてすむこと、そして、最大の相違点は、審査人が審査中に積極的にアドバイスをすることです。

Q5. 知名度は低いのでは…

A. 平成19年6月1日に閣議決定した「21世紀環境立国戦略」中にも「環境立国を支える仕組みづくり(戦略8)」で、EA21が盛り込まれています。大手メーカーでもサプライチェーンのグリーン化を推進する上で、ISO14001と並列でEA21を勧めているところも増えていきます。また、山形県では、平成32年度までに260件の認証取得を目指しています。

自治体イニシアティブ・プログラムとは

自治体(市区町村)の呼びかけにより、域内でエコアクション21の認証・登録を目指す事業者を募り、エコアクション21地域事務局(NPO法人環境ネットやまがた)と審査人の協力のもと、より多くの事業者が短期間で効率よくエコアクション21に取り組むための普及プログラムです。

自治体としては、域内の多くの事業者が一斉にエコアクション21に取り組むことにより、地域全体の二酸化炭素排出量、廃棄物排出量などの環境負荷の削減が図られるとともに、事業者の環境への取り組みの支援策としても有効です。参加事業者は、エコアクション21地域事務局が開催する「エコアクション21の塾」(集合形式で全5回程度)を無料で受講することができ、審査人からエコアクション21の解説や具体的な取り組みのアドバイスを受けることができます。受講から半年程度で、審査を経て、認証・登録に至ることが可能です。

お問合せ
お申込み

エコアクション21地域事務局環境ネットやまがた
(特定非営利活動法人環境ネットやまがた)

申込
締切日

6月11日(火)

FAX 023-679-3389 E-mail ea21@eny.jp

添書
不要

エコアクション21 「山形市自治体イニシアティブ・プログラム」説明会 参加申込書

会社名			
氏名		TEL	
住所	〒	FAX	

※ご記入いただきました情報につきましては、環境ネットやまがたプライバシーポリシーに基づき適正に管理します。